

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ステラ		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から児童達の様子(成長に繋がる点、課題となる点等)を保護者と共有でき、それが保護者の安心感に繋がっている	利用時の様子、活動内容をLINEで細かく伝え、写真も添える等、伝わりやすいよう工夫してしている。LINEや送迎時の申し送りや伝える際、課題となる点だけでなく、出来た事もしっかり伝え、児童本人、保護者共に自信が持てる内容にも着目している。児童、保護者が安心感を持って利用できる環境、関係作りを行っている	現状を継続し、更に安心感、信頼感を持って利用していただくために保護者との更なる関係性構築を行い、相互の信頼関係を深めていく。刻々と成長を続けている児童だが、良い点も伝えつつ、家庭・保護者と一体となって成長をサポートできる内容を検討・共有を行っていく
2	事業所の雰囲気、スタッフ間の連携ができています。事業開始から現在まで離職者もいなく、安定した関わりの中で日々のサポートが提供できています。児童達もその環境の中で療育支援を受ける事で日々成長が見られている	スタッフ間のコミュニケーションがしっかり取れるよう、毎朝のミーティングは必要に応じた時間を的確に確保している。スタッフそれぞれが支援方法、方向性で悩むことなく、常に全体で共通認識を持ちながら日々の支援に臨んでいる	個々の業務負担の効率化を図り、それぞれが余裕を持って取り組む事で更に質の良いサポートの提供を模索していく。様々な特性・課題を持った児童が在籍している為、専門性を高めたサポート、多角的な視点をを用いたサポートの提供の為、新たな専門職の雇用やスタッフ個々の研鑽に努めていく
3	活動プログラムは、スタッフ全員が参画している。その時期に必要な支援プログラム内容を取り入れる事で基本的な日常生活力、社会性、協調性等を高められる工夫を行っている	毎月、スタッフミーティングにて活動プログラムの内容を話合っている。放課後等デイサービスとの多機能事業である利点を活用し、異年齢でも楽しみながら取り組める内容を工夫している。また、未就学時点における必要な日常生活力を個々の特性に応じたサポート内容を設定し、就学に向けた目標設定も行っている	その時々児童達の成長幅に合わせた活動プログラムを立案している。今後は更に成長していく事も、緩やかに成長していく事も様々なパターンが予測される。児童達が参加する上で全体が更に楽しみながら学んでいけるよう、工夫と環境整備を行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の内容について、発信(LINE、Instagram等)を行っているが、一部の保護者には伝わっていない	活動プログラムを通して、近隣の児童センターを利用して地域の子ども達との交流、子ども園と連携して給食体験や園庭遊び等への参加等の地域交流を積極的に行っている。その様子を日々のLINEやInstagram等で発信する工夫を行っているが、今回のアンケートで全体には周知ができていない事が分かった	日々のLINE、Instagram等での活動内容の発信は継続し、保護者向けの広報誌の発行等も検討していく。 来年1月には、父母の会、保護者会の中で活動報告も実施する予定となっている為、「地域交流」についての報告も行っていきたい
2	ペアレントトレーニング等の実施	外部での専門家による研修が実施される際、保護者への周知が十分にできていない点がある。 ペアレントトレーニング等を自事業所で実施する必要性については検討されてきたが、まだ実施に至っていない	家族が参加できる研修会の情報収集を行い、個々の特性や成長に合わせた研修を積極的に発信を行っていく。スタッフそれぞれも専門性を更に高めるよう様々な研修へ参加し自己研鑽に努める。得た知識、技術等を法人全体や自事業所で実施するペアレントトレーニング等に活かしていく
3	父母の会、保護者会の周知	法人全体、ステラ、ステラNEXTの合同で11月に親子バーベキュー会を開催したが、保護者の中にはレクリエーションの環境として認識されていたよう父母の会、保護者会の認識が持たれていなかった。周知の方法に工夫が必要と感じた	年1回の親子バーベキュー会だけでは、参加の有無に偏りが出してしまう。不参加の場合は父母の会、保護者会の認識を持ってもらいたい。参加の場合においても、認識してもらえるような周知方法や内容の工夫が必要。また、次年度からは父母の会、保護者会の拡充を行っていく。7月は親子バーベキュー会、1月は懇親会、活動報告会、作品展を実施予定